

平成30年 3 月期 第 3 四半期
決算説明資料

平成30年 2 月



目次

損益状況 <連結> 2頁

損益状況<セブン銀行 単体> 3頁

ATMプラットフォーム事業 計数 4頁

決済口座事業 計数 5頁

国内事業 進捗状況 6頁

海外事業 計数 7頁

海外事業 進捗状況 8頁

株主還元 9頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからご覧いただくことができます。
(<https://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

■ 当第3四半期は、前年同期比増収増益

(単位：億円)

	16年度 第3四半期	17年度 第3四半期	前年差異	17年度 <u>修正計画</u> (2018年2月2日)
経常収益	923	947	24	1,267
経常費用	634	646	12	892
経常利益	289	300	11	374
純利益	196	205	9	253

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル：2016年度第3四半期＝108.57円、2017年度第3四半期＝111.89円、2017年度計画＝110.00円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

■ 当第3四半期は、前年同期比増収増益

(単位：億円)

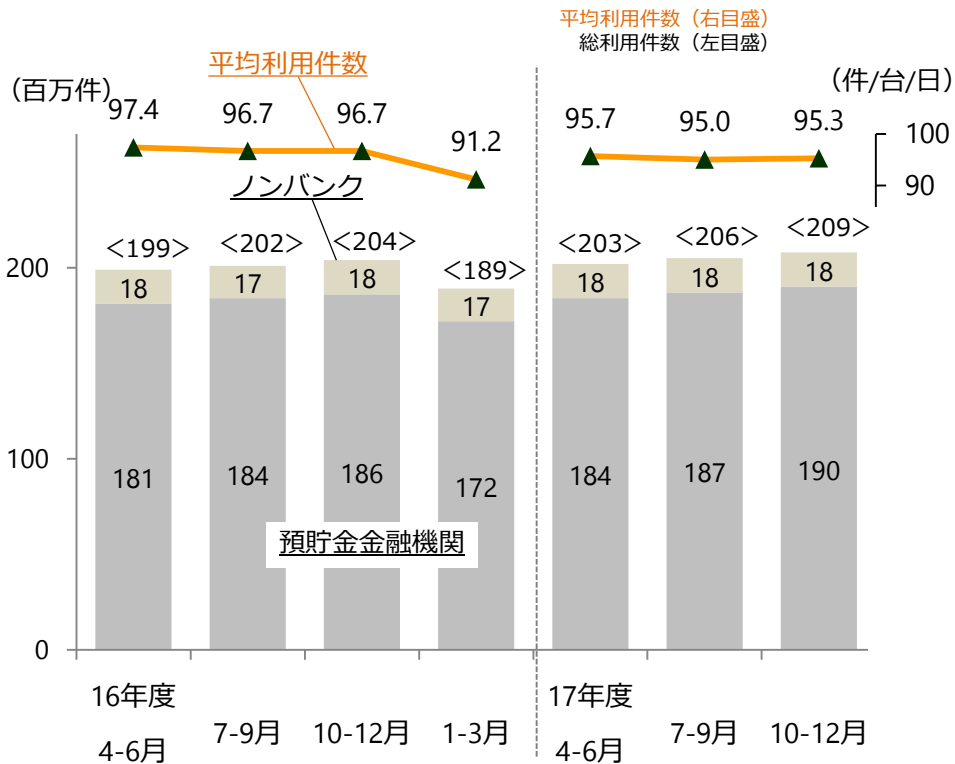
	16年度 第3四半期	17年度 第3四半期	前年差異	17年度 当初計画
経常収益	858	882	24	1,170
うちATM受入手数料	789	803	14	1,060
経常費用	554	556	2	760
経常利益	304	326	22	410
特別損益	△1	△0	1	△1
法人税等合計	93	100	7	125
純利益	209	224	15	283
EBITDA	435	444	9	571

期末ATM設置台数 (台)	23,177	24,032	855	24,300
平均利用件数 (件/台/日)	96.9	95.3	△1.6	94.3
総利用件数 (百万件)	606	618	12	815

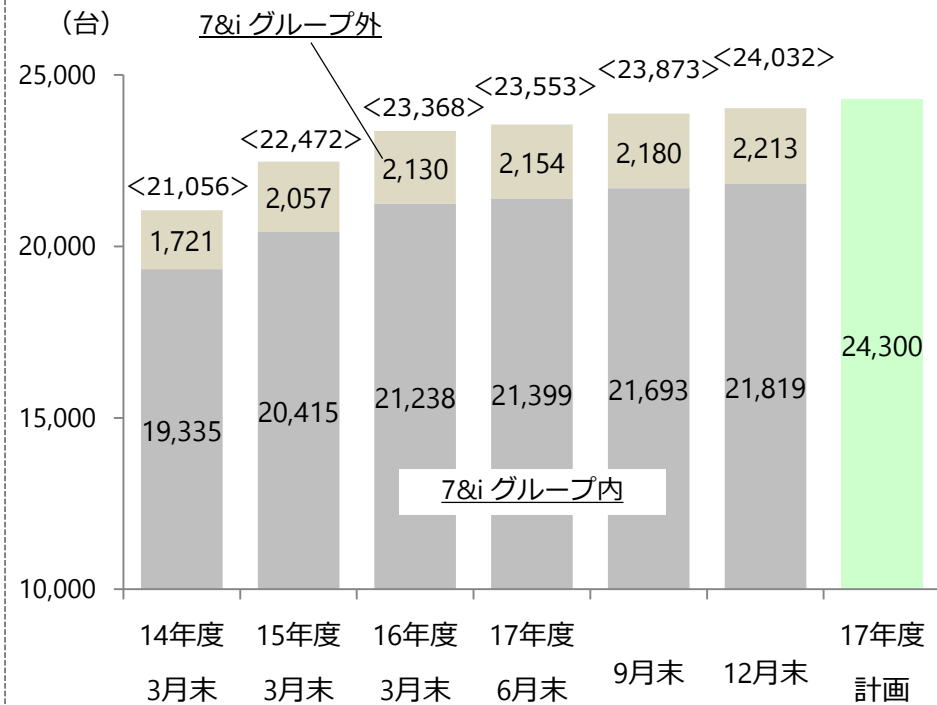
注) EBITDA=経常利益+減価償却費

ATMプラットフォーム事業 計数

ATM利用件数の推移

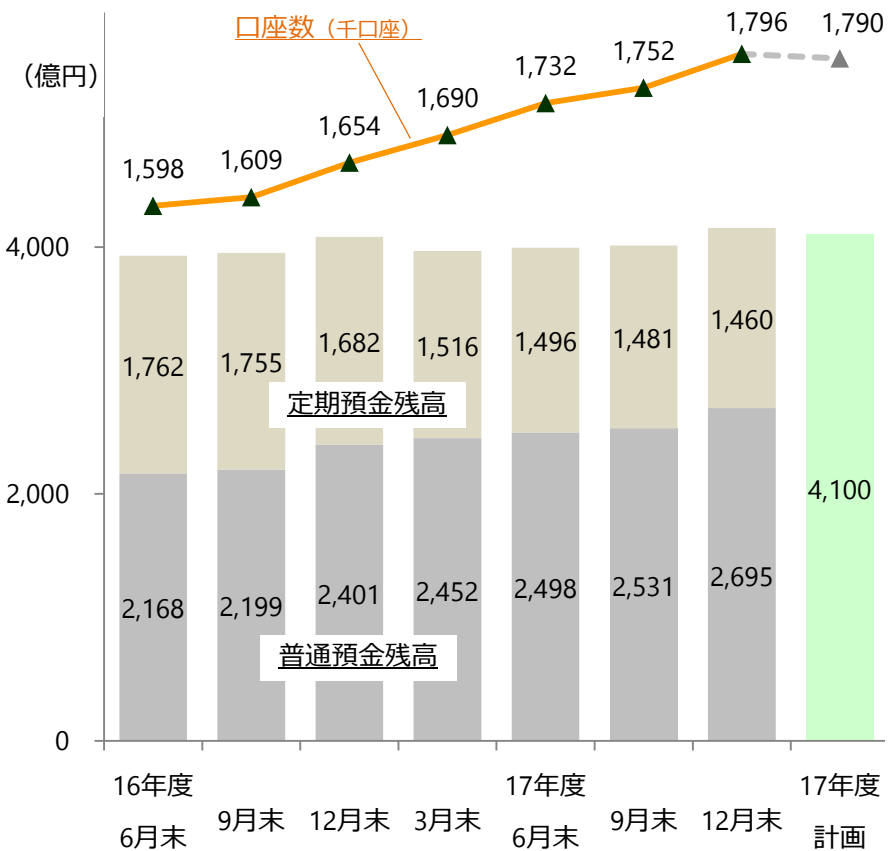


ATM台数の推移



注) ATM利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

口座数と預金残高（個人）



個人向けローン

	16年 12月末	17年 12月末	17年度 計画
期末残高 （億円）	185	222	240

海外送金サービス

	16年 4月～12月	17年 4月～12月	17年度 計画
取引件数 （千件）	738	818	1,150

デビットサービス

	16年 10月～12月	17年 4月～12月	17年度 計画
取引件数 （千件）	319	4,582	9,000

検証

ATMプラットフォーム事業

- ✓ 新しいATM利用スタイル創造は堅調スタート（ソフトバンクペイメント、LINE Pay等）
- ✓ 現金受取サービス開始に向け準備中（春にサービスイン予定）
- ✓ ATM利用件数は計画下振れ
- ✓ ATM平均利用件数は漸減継続も、下落幅は縮小
- ✓ ATM台数・ATM受入手数料単価は計画通り推移

決済口座事業

- ✓ 各サービスは計画比はやや下振れも、着実に進捗
- ✓ グループ金融戦略：スマホアプリでの決済手段を開発中

■ 当第3四半期は、前年同期比**減収減益**

決算概要

(単位：百万ドル)



	16年度 第3四半期 (1月～9月)	17年度 第3四半期 (1月～9月)	17年度 当初計画
経常収益	59.4	56.7	122.8
経常費用	63.0	70.1	130.6
経常利益	△3.6	△13.3	△7.8
純利益	△2.4	△8.5	△5.0
EBITDA	1.7	△8.3	3.5

ATM主要計数

	16年度 第3四半期 (1月～9月)	17年度 第3四半期 (1月～9月)
期末設置台数 (台)	6,267	7,789
うちSEI (台)	-	2,162
うちSEI外 (台) ～自社保有	4,958	4,652
うちSEI外 (台) ～設置先保有	1,309	975
期間総利用件数 (千件)	28,482	27,248

注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 2017年12月末時点のATM台数=11,582台

SEI内：5,948台

SEI外：自社保有 4,678台、設置先保有 956台

検証

米国セブン-イレブン

- ✓ 開始時期の後ズレは影響も、ATM入替は順調に進捗
- ✓ 入替後の安定稼働実現 稼働率99%以上
- ✓ オペレーションコストの上昇（安定運用重視によりATM装填現金増、金利上昇）
- ✓ ATM入替期間中の利用件数低迷（＝入替完了後に件数向上策実施）

米国セブン-イレブン外

- ✓ 利用件数は漸減傾向（＝市場全体のATM利用件数減）
- ✓ 設置コストの上昇圧力は継続
- ✓ 設置先保有ATMの運営受託ビジネスは順次整理を継続

株主還元

方針

連結配当性向は年間40%を最低目標に、年2回配当を実施

期末配当予想

期末配当金額：1株あたり5.25円（配当総額約62億円）

当初計画より50銭増配し1株あたり年間配当10円

配当金、配当性向の推移

